



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事	階数	3
建設地	横浜市都筑区池辺町字敷前3905番3、3905番4、3914番2、3914番3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 竣工	評価の実施日	2021年9月6日
敷地面積	4,158 m <sup>2</sup>	作成者	小山
建築面積	2,495 m <sup>2</sup>	確認日	2021年9月6日
延床面積	4,578 m <sup>2</sup>	確認者	真野

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.3** ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 83%  
③上記+②以外の: 83%  
④上記+: 83%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (スコア 1.8)  
Q2 サービス性能 (スコア 2.4)  
Q3 室外環境 (敷地内) (スコア 1.1)  
LR1 エネルギー (スコア 3.7)  
LR2 資源・マテリアル (スコア 2.6)  
LR3 敷地外環境 (スコア 2.6)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 1.7

#### Q1 室内環境 (スコア=1.8)

#### Q2 サービス性能 (スコア=2.4)

#### Q3 室外環境 (敷地内) (スコア=1.1)

LR のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー (スコア=3.7)

#### LR2 資源・マテリアル (スコア=2.6)

#### LR3 敷地外環境 (スコア=2.6)

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
工業地域に位置する今回の工場は、古紙の回収加工を行う工場、周囲への騒音及び振動は比較的小さいものです。敷地の周囲には緑地を配置し、周囲への緩衝を心掛けています。	外部への回収物の飛散防止に配慮し、高さ2.5mほどの壁を敷地周囲に立てています。また、外部に出る騒音を抑えるため外壁をALCとしています。
<b>Q1 室内環境</b> 工場で非空調の為、特に配慮はありません。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高の高い工場なので空間は大きくあります。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 緑地の確保に努めています。	<b>LR1 エネルギー</b> 生産設備のみで空調がない為、特にありません。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地の周囲には緑地を配置し、周囲への緩衝を心掛けています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



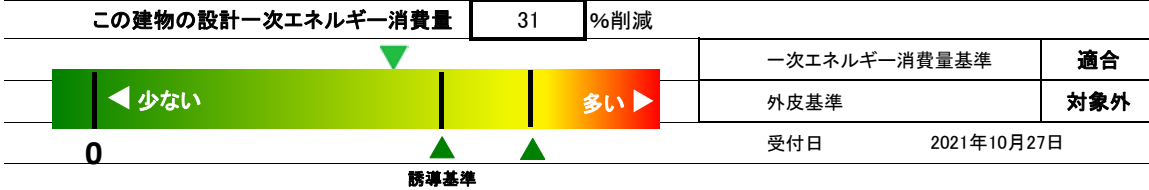
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

① BPIM=0.75

③ BEIM=0.69

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

工場で非空調の為、特に配慮はありません

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

階高の高い空間となっています

休憩スペースを設けています

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

特に配慮はありません

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **2**

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

内装がないため主要内装仕上げ材の更新の必要がありません

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

敷地内に緑地を設けています

外部への回収物飛散防止に配慮し、壁を敷地周囲に立てています

外部に出る騒音を抑えるため、外壁をALCとしています

##### 太陽光発電などの導入

\_\_\_\_\_

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

##### エネルギーマネジメントシステム導入

\_\_\_\_\_



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>					-		-			<b>1.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.31</b>		-			<b>1.8</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.0</b>	0.15	-	-			<b>1.0</b>
1.1 騒音				1.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.40	-	-			-
1		開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-			-
2		界壁遮音性能		1.0	0.40	-	-			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-	-			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-			-
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.8</b>	0.35	-	-			<b>1.8</b>
2.1 室温制御				<b>2.2</b>	0.71	-	-			-
1		室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.40	-	-			-
3		ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.60	-	-			-
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.29	-	-			-
2.3 空調方式				快適・働きやすさ	-	-	-			-
3 光・視環境				<b>1.8</b>	0.25	-	-			<b>1.8</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	-	-			-
1		昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	-	-			-
2		方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3		昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	-	-			-
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	0.30	-	-			-
1		昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	1.00	-	-			-
3.3 照度				<b>2.0</b>	0.15	-	-			-
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	-	-			-
4 空気環境				<b>2.2</b>	0.25	-	-			<b>2.2</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	1.00	-	-			-
4.2 換気				<b>1.6</b>	0.30	-	-			-
1		換気量	快適・働きやすさ ⑪空気環境	1.0	0.33	-	-			-
2		自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.33	-	-			-
3		取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気環境	1.0	0.33	-	-			-
4.3 運用管理				<b>1.0</b>	0.20	-	-			-
1		CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ ⑪空気環境	1.0	1.00	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.1</b>	0.40	-	-			<b>2.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>2.3</b>	0.40	-	-			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	5.0	0.33	-	-			-
2		高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	-	-			-
3		バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>2.0</b>	0.30	-	-			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-			-
2		リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.33	-	-			-
3		内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	-	-			-
1.3 維持管理				<b>2.0</b>	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.4</b>	0.30	-	-			<b>2.4</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.3</b>	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.22	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.22	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.11	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	-	-	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	-	0.22	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.22	-	-			-
2.4 信頼性				<b>1.0</b>	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-			<b>2.9</b>
3.1 空間のゆとり				<b>2.2</b>	0.30	-	-			-
1		階高のゆとり		1.0	0.60	-	-			-
2		空間の形状・自由さ		4.0	0.40	-	-			-
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性				<b>3.5</b>	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		-	-	-	-			-
2		給排水管の更新性		4.0	0.50	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.25	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.25	-	-			-
5		設備機器の更新性		-	-	-	-			-
6		バックアップスペースの確保		-	-	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.39	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.0
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.1	0.50	-	-	4.1
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		2.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	1.00	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				-	-	-	-	-
3 冷媒				-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.33	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制				4.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮				2.0	0.33	-	-	2.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				-	-	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				3.0	1.00	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				1.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	1.00	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	-	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-